

〔 令和 8 年 5 月 1 日
総合教育会議 〕

市立高校のさらなる 特色化・魅力化にむけて

これまでの教育委員会の取り組み

- ・市立高校は、生徒の個性や多様な進路に応えるため、また生徒数の減少に対応するため、県に先駆けて1998年から2016年にかけて再編統合等を行うなど、社会環境の変化に適切に対応してきた。

アクセスの良い立地に校舎建替

単位制や総合学科などのカリキュラムの導入 など

- 
- ・比較的高い出願倍率を維持

〔参考〕市立高校（全日制5校）志願倍率の推移

	学校	課程	募集定員	志願倍率		
				2024	2025	2026
推薦 入試 (2月)	六甲アイランド	普通（単位）	180	1.38	2.11	1.80
	葺合	国際	80	1.16	1.04	1.31
	須磨翔風	総合学科	140	1.41	1.81	1.36
	科学技術	4学科計	180	1.68	1.56	1.74
	神港橋	みらい商学	160	1.17	1.25	1.19
	市立高校合計	—	740	1.39	1.62	1.52
	県立高校合計※	—	1,260	1.23	1.26	1.11
一般 入試 (3月)	六甲アイランド	普通（単位）	180	1.43	2.02	1.56
	葺合	普通	280	1.06	1.18	1.21
	須磨翔風	総合学科	140	1.24	1.81	1.44
	科学技術	4学科計	180	1.36	1.32	1.31
	神港橋	みらい商学	160	1.11	1.22	0.99
	市立高校合計	—	940	1.22	1.47	1.29
	県立高校合計※	—	3,868	1.10	1.05	0.99

※県立高校は神戸・芦屋市内の全日制高校の合計

高校教育改革グランドデザイン（文部科学省）

2026年2月 公表

文部科学省が高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）
～2040年に向けた「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」～

- ・ 2040年には、少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方過疎化の深刻化が見込まれ、これに伴う労働力需給ギャップや、産業界のニーズに応じた理系人材の不足が生じる可能性があると考えられている。
- ・ 将来を正確に予測することは難しい中でも、生徒それぞれの多様な個性やニーズ、興味・関心に応じた学びを生かした自己実現を支え、生徒の可能性を広げ能力を伸ばす改革に取り組む必要性が指摘されている。

高校教育改革グランドデザイン（文部科学省）

3 本柱の高校教育改革

（1）専門高校の機能強化・高度化

地域産業と連携した実践的学び、高度な施設整備、アドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成

（2）普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化

文理横断の探究、理数・デジタルの強化、普通科の学科再編

（3）地理的アクセス・多様な学びの確保

遠隔授業、学校間連携、地域・大学・産業界との連携

高校教育改革グランドデザイン（文部科学省）

2040年までに達成を目指す目標

【職業教育の高度化・魅力の強化関係】

- ・地域の産業界等と連携・協働した取り組みを行う専門高校：100%
- ・少子化傾向においても専門高校の生徒数を現在と同水準

専門高校（工業、農業等）の生徒数の全生徒に占める割合を2割から3割に

【普通科の在り方の転換・魅力の強化関係】

- ・文理横断的な学びに取り組む普通科高校：100%
- ・普通科でいわゆる文系と理系の生徒の割合：同程度

文系と理系の生徒割合を同程度に（現在は文系5割、理系3割、区別なし2割）

【多様な学びの確保関係】

- ・学びの状況に関する生徒の肯定的な評価の向上
- ・高校卒業段階の進路未決定者の割合の半減

神戸市立高校の現状

- すべての生徒数に占める専門高校の生徒数の割合（2026年2月末時点）
57.2%（市立生徒4,926人、うち専門高校生徒数2,819人）
- 文系と理系の生徒の占める割合（2026年2月末時点）
文系：40%、区別なし：38.5%、理系：21.5%
- 高校卒業段階の進路未決定者の割合（2026年3月末時点）
0.9%（卒業段階生徒数1,547人、進路未決定者14人）

※全日制高校を対象とした数値

専門高校：職業に関する学科を設置する学校（総合学科を含む） = 科学技術、神港橘、須磨翔風
文系：普通科、国際科、みらい商学科
理系：機械工学科、電気情報工学科、都市工学科、科学工学科
区別なし：総合学科（単位制）、普通科（単位制）
進路未決定者：浪人生は含まない（大学進学希望のため）

神戸市立高校の現状

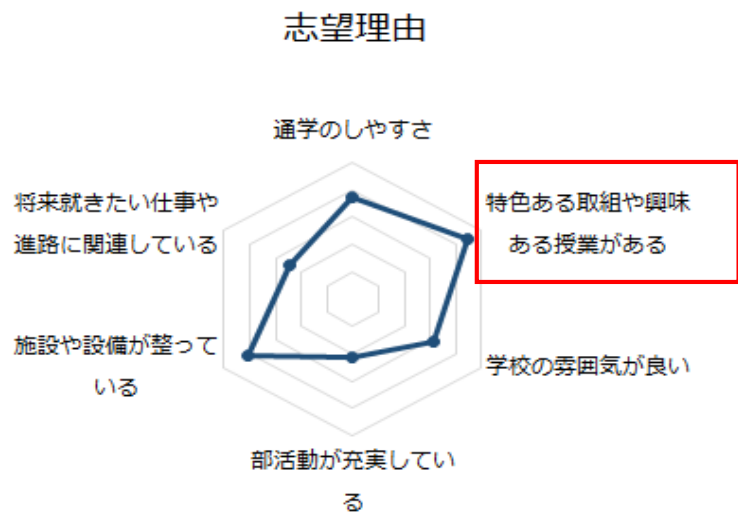
- ・ 少子化やグローバル化の進展等を踏まえ、市立高校が育成すべき人材やその教育内容を議論いただく場として、「これからの市立高等学校のあり方に関する有識者会議」を2024年1月に設置。
- ・ 2025年3月に、「意見のまとめ」をいただいた。

【参考】有識者会議の意見のまとめ（抜粋）

- ・ 起業家等との関わりによる「キャリア教育」や、地域等との連携による神戸に根差した「文理融合型探究学習」に注力すべき。
- ・ 普通科については、様々な分野の基礎知識を横断的に学ぶ新学科や、生徒の興味関心に応じた学びを提供する単位制への改編も検討すべき。

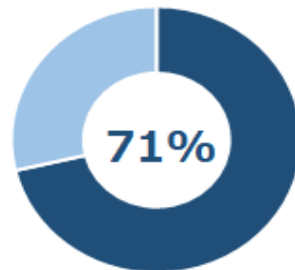
神戸市立高校の現状

魅力向上に関する生徒アンケート結果（2026年4月実施）



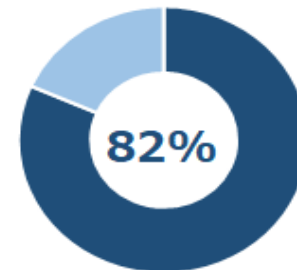
学校の枠を超えて
取り組める環境への興味

■ ある ■ ない



地域の企業と
協働してみたい

■ 思う ■ 思わない



在学中に身についた力

仲間と協力して目標を達成する力

失敗を恐れずに挑戦する意欲

新しいアイデアを生み出す力

論理的に考えて問題を解決する力

異なる文化や価値観を理解する姿勢

0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35%

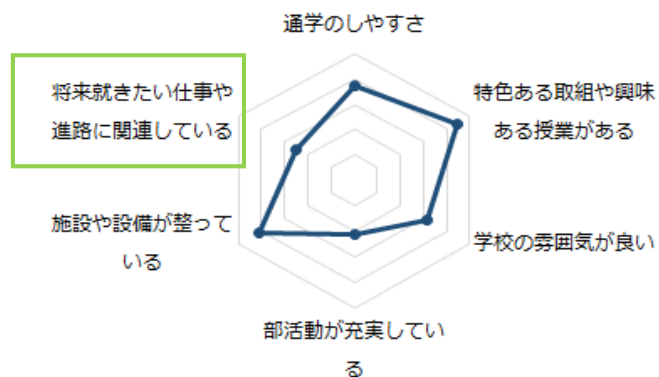
<アンケートについて>

- ・ 2、3年生を対象に実施
- ・ 約3,400名のうち、2,465名が回答（約72%）

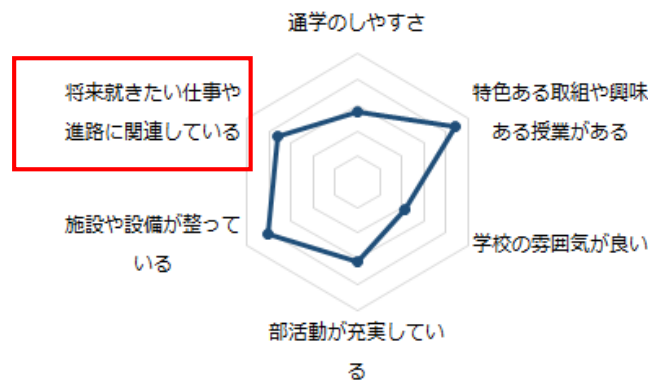
神戸市立高校の現状

魅力向上に関する生徒アンケート結果（2026年4月実施）

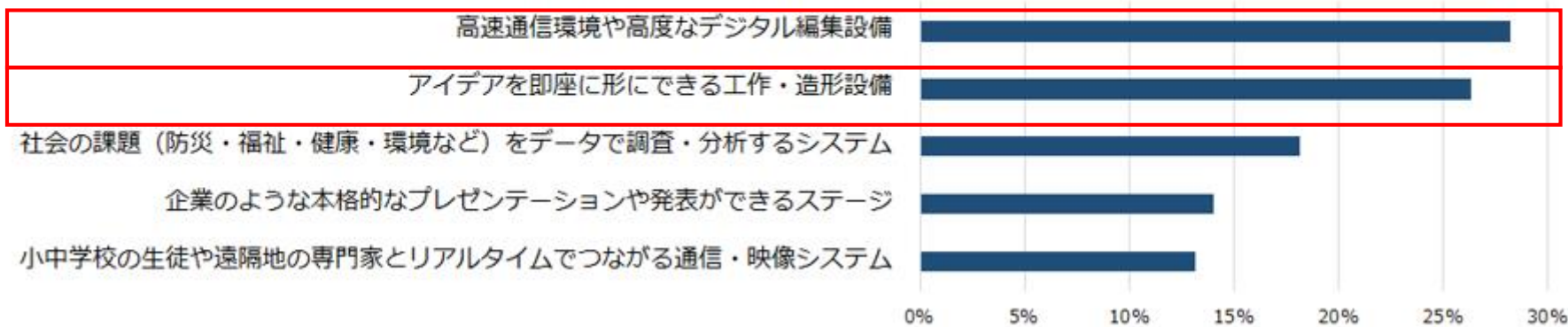
志望理由（市立高校全体）



志望理由（科学技術高校）



授業や探究活動において「これがあればもっと深く学べる」
と思うツールや環境



(事例紹介) 優れた施設・設備を持つ学校



探究

関西大学高等部

普通科

1学年150名程度

特長

探究学習を通じて国際的な視野と、自ら設定した問いの解答に迫っていく力を備えた人物を育成



自習スペース



コンピュータ教室



マルチメディア教室



オープンスペース

中講義室



探究

京都先端科学大学附 属高等学校

普通科

国際コース

特進ADVANCEDコース

特進BASICコース

進学コース

1学年380名程度

特長

国際コースをはじめとした、世界のどの舞台に立っても堂々と自分の意志で行動できる人間の育成



アクティビティ
ホール



中教室

ラーニングcommons



食堂(コンビニ常設)



探究

立命館中学校・

高等学校

普通科

MSコース（文理特進）

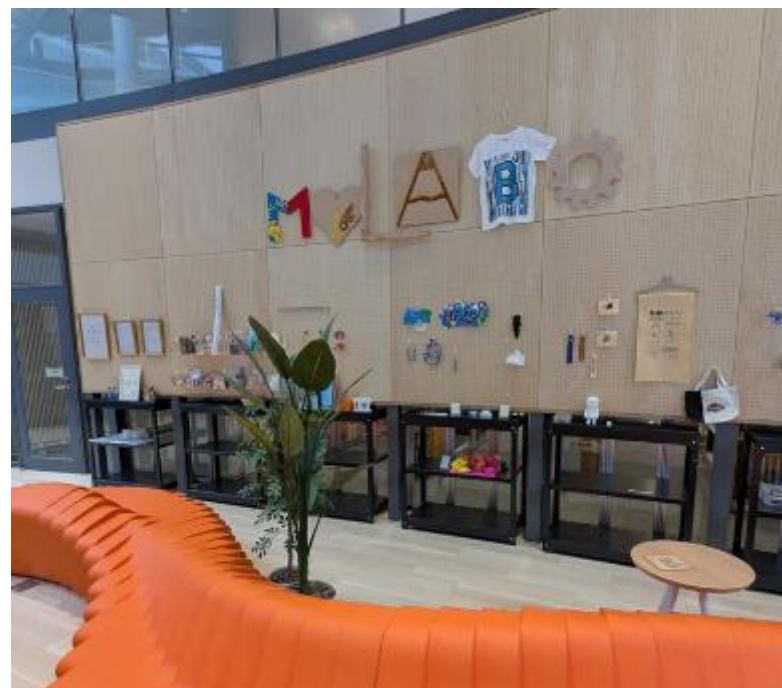
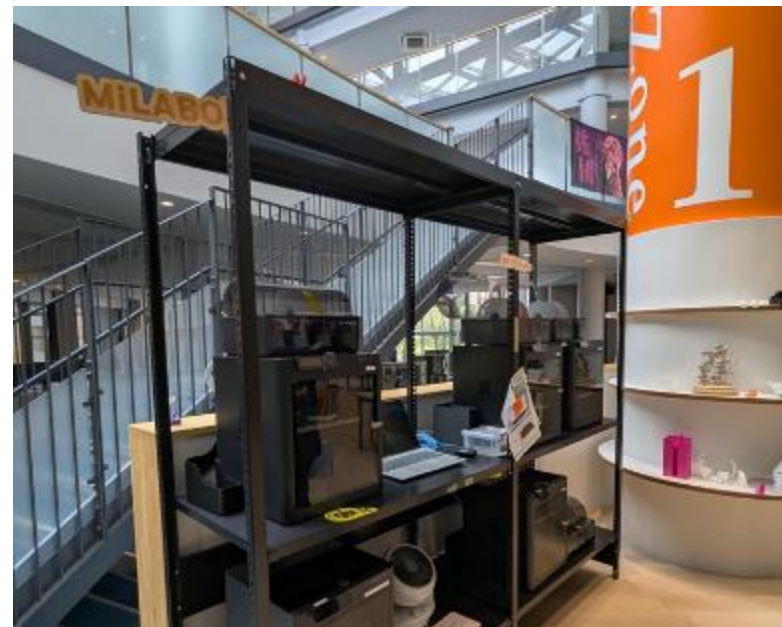
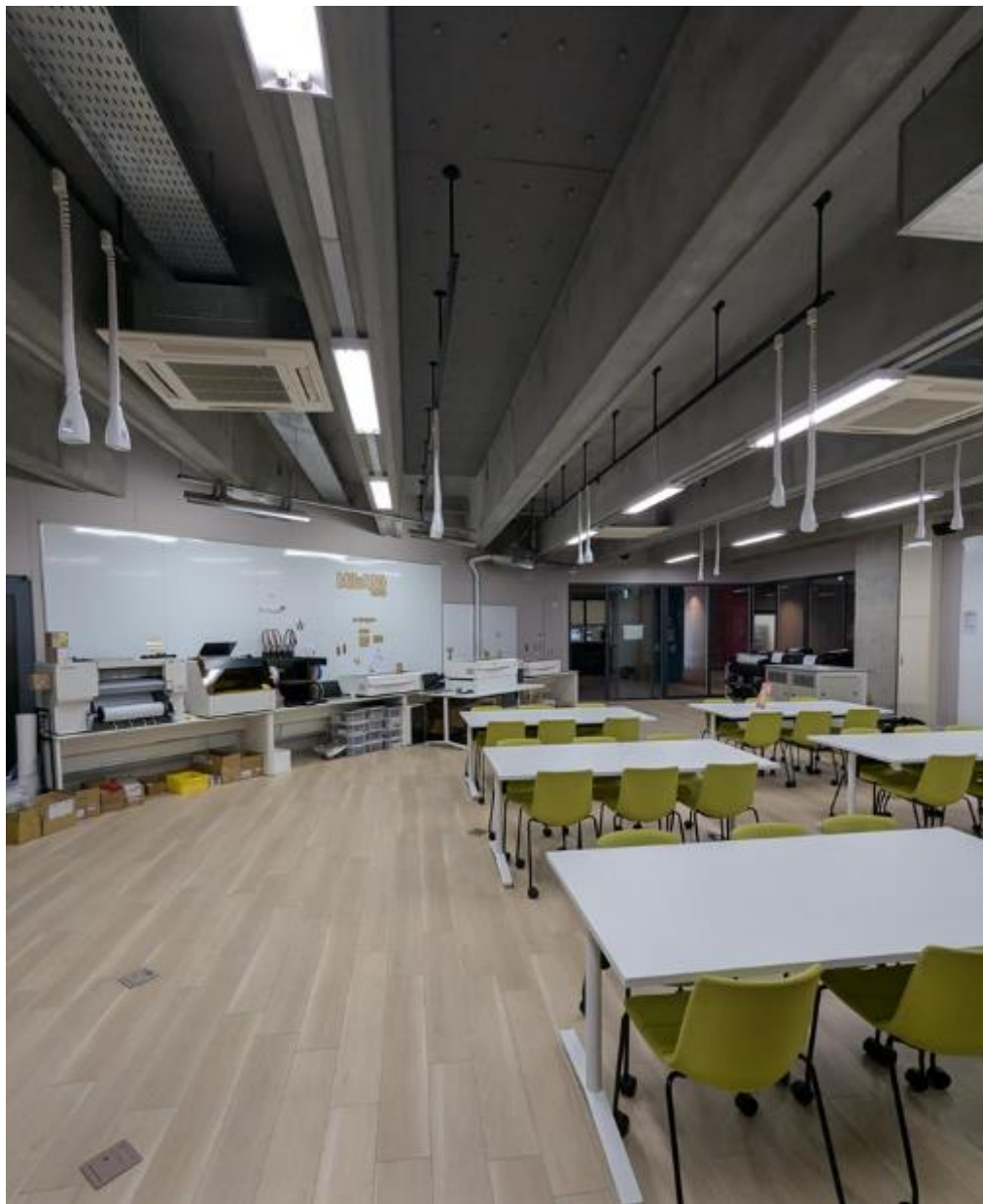
コアコース（文理総合）

GJコース（国際志向）

1学年360名程度

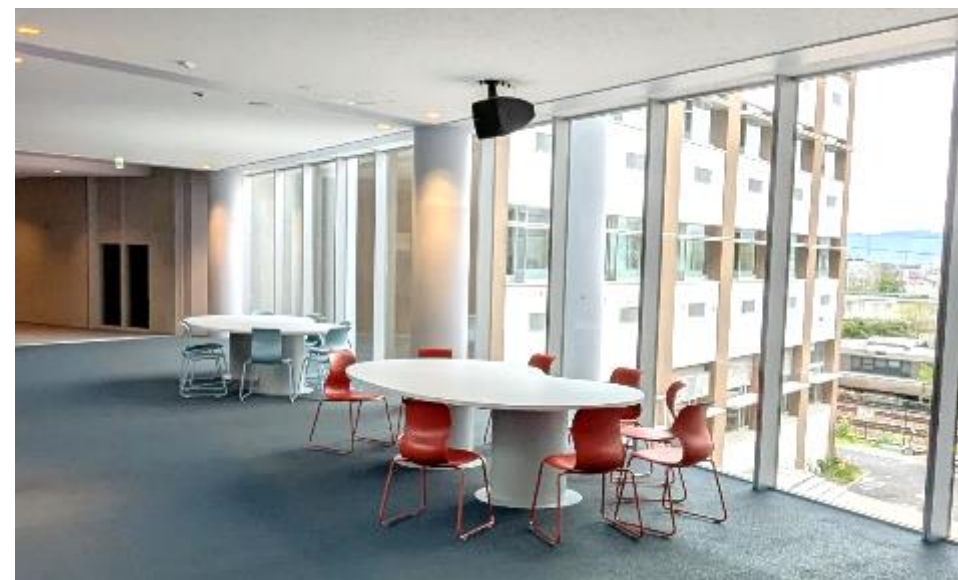
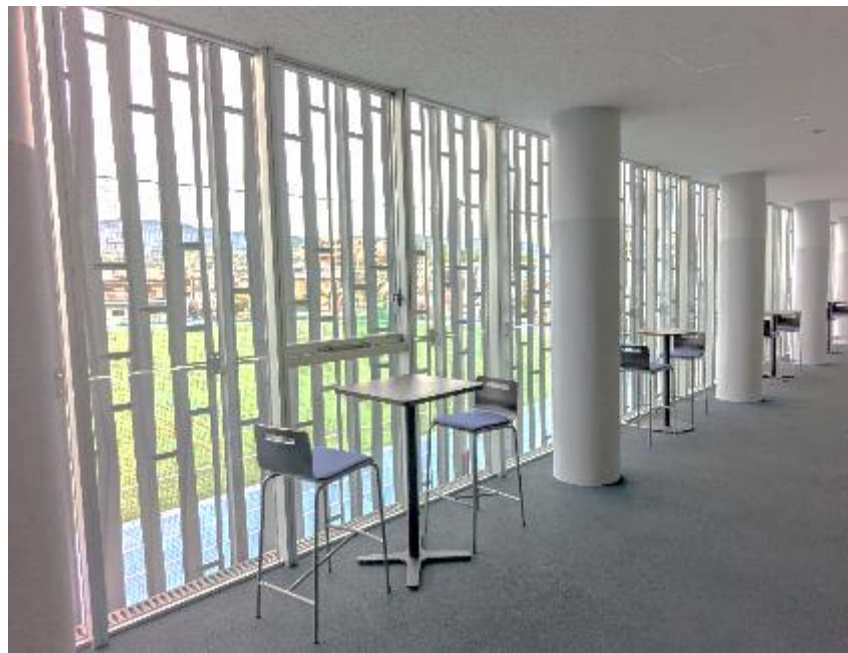
特長

「新しい価値を創造し、未来に貢献する人材」を育成、SSHや海外20校との国際交流、STEAM教育を一層推進する。



MiLABO(ミラボ)

探究
立命館中学校・
高等学校



廊下・共有スペース

商業・探究

京都府立

京都すばる高校

商業学科群

起業創造科

企画科

情報科学科

1学年280名

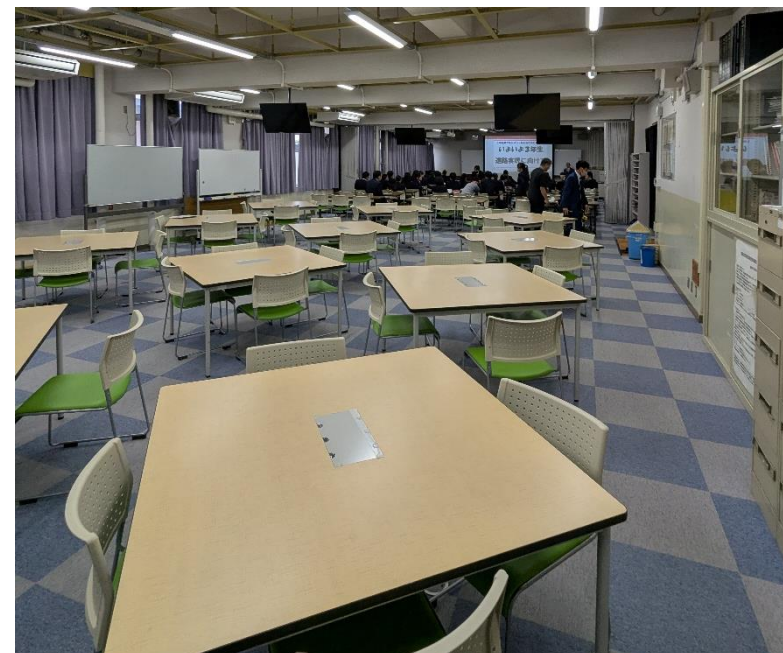
特長

京都府の商業・情報に関する専門学科の基幹高校として、産官学の連携及び地域との協働による課題解決型の探究活動を通して専門性を高める。



アプリケーション実習室

プレゼンテーション実習室



廊下



商業・工業・探究

尼崎市立

尼崎双星高等学校

普通科

商業学科

工業科

電気情報科

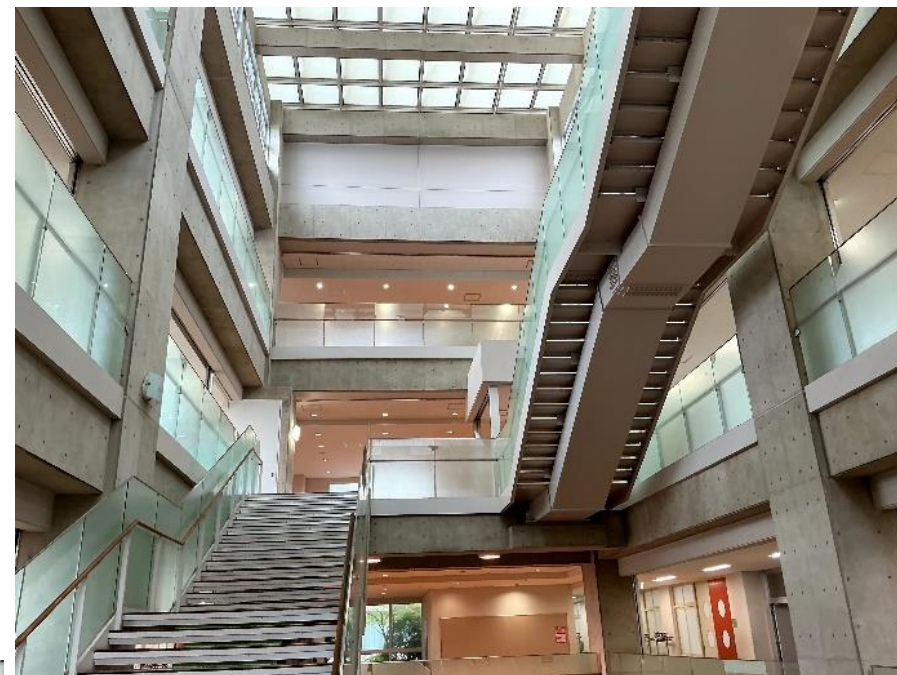
1学年360名

特長

普通科・商業科・ものづくり科を併設、充実した施設と多様な進路に対する手厚い指導を行う。



共有スペース



管理棟



実習室



鍛造設備

工業・探究

京都市立

京都工学院高校

プロジェクト工学科

(ものづくり分野)

プロジェクト工学科

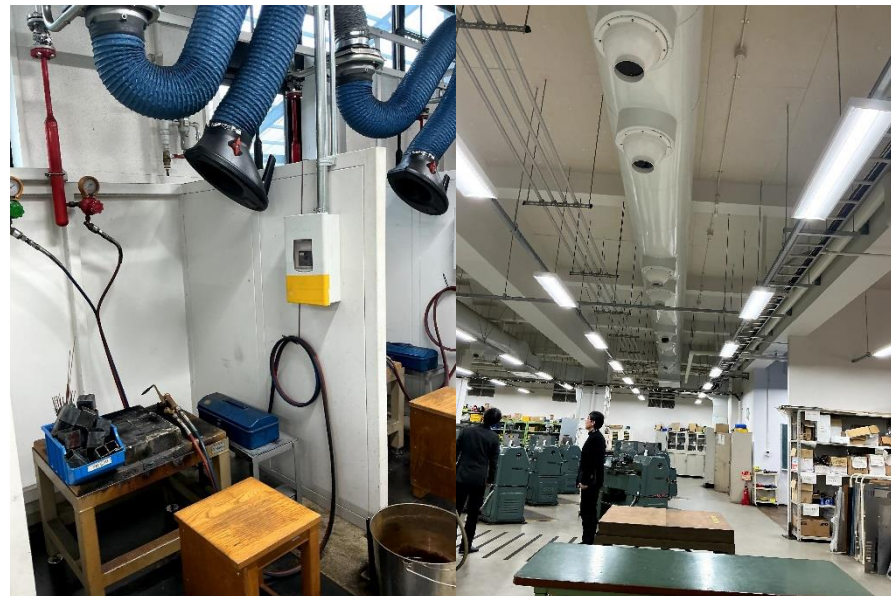
(まちづくり分野)

フロンティア理数科

1学年240名

特長

工学に特化した2系7専攻を構成し、専門的学習とプロジェクト演習を実践する。



溶接実習

空調設備



実習室

プレゼンテーション・ルーム



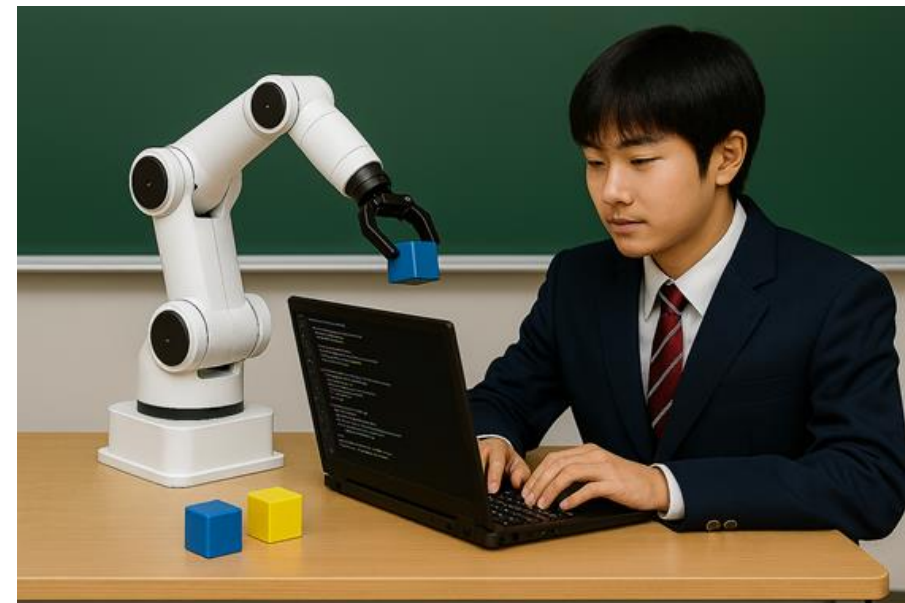
教室

工業の
さらなる
特色化に向けて



溶接ロボット

3Dレーザースキャナ



ロボットアーム

建設重機シミュレーター



探究

京都市立堀川高校

1. 概要

設立年度：1948年

生徒数：731人

学科：普通科（2027年度募集停止、2029年廃止予定）2学級80人／学年
探究学科群（1999年設置）4学級160人／学年

所在地：京都市中京区東堀川通錦小路上る四坊堀川町（阪急大宮駅徒歩5分）

2. 主な特長

- ・1999年に全国に先駆けて探究学科を設置し、2002年卒業生（1999年4月入学）の国立大学合格者が前年度比100名増（6人→106人）

（参考）近年の大学入試結果（現役合格者の人数）

年度	国公立4年制大			私立4年制大			その他 (海外等)
	総計	東大	京大	総計	早慶上理	明青立中法 関関同立	
2024	138	2	30	296	8	8 199	1
2023	143	3	35	282	10	1 184	3
2022	143	5	37	284	9	3 187	1

高校入試 志願倍率の推移：

	2024	2025	2026
普通科	1.25	1.51	1.38
探究学科群	1.70	1.49	1.55

- ・大学入試のための勉強と「探究基礎」（約1年半で学習成果を論文化）の授業を両立させる。
- ・生徒が主体的に海外研修、学校説明会の運営や、修学旅行の企画を行っているほか、「探究基礎委員会」等スタッフ活動にも積極的に取り組んでいる。
- ・京大大学院生が探究活動に参画し、生徒は実験や分析等の際にアドバイスを受けることができる。
- ・SSH等の文科省指定事業を通じて、経済的な研究支援と外部から授業の評価検証を受けることで校内の授業の研究開発力向上につなげている。
- ・研修や連携事業、教員の人事異動を通じて、市内小中学校や他の高校等にも探究活動の理念や指導方法を普及させる役割を担っている。
- ・生徒が中学生向けの探究ワークショップを企画運営しており、志願者数の確保にも寄与していることが考えられる。

神戸市立高校の今後のあり方

本日の論点

市立高校を取り巻く状況は、人口の急速な減少や国における理系重視の教育政策の進展、授業料無償化の影響、人材ニーズの多様化など、大きく変化している。
このことから、（国）グランドデザイン、（市）有識者会議でのご意見、生徒の声、視察結果等を踏まえ、以下の論点で議論。

○公立高校の果たすべき役割

○市立高校が目指すべき方向性

○市立高校の魅力をさらに高めるための方策

神戸市立高校の今後のあり方

魅力向上に向けた方策の具体例

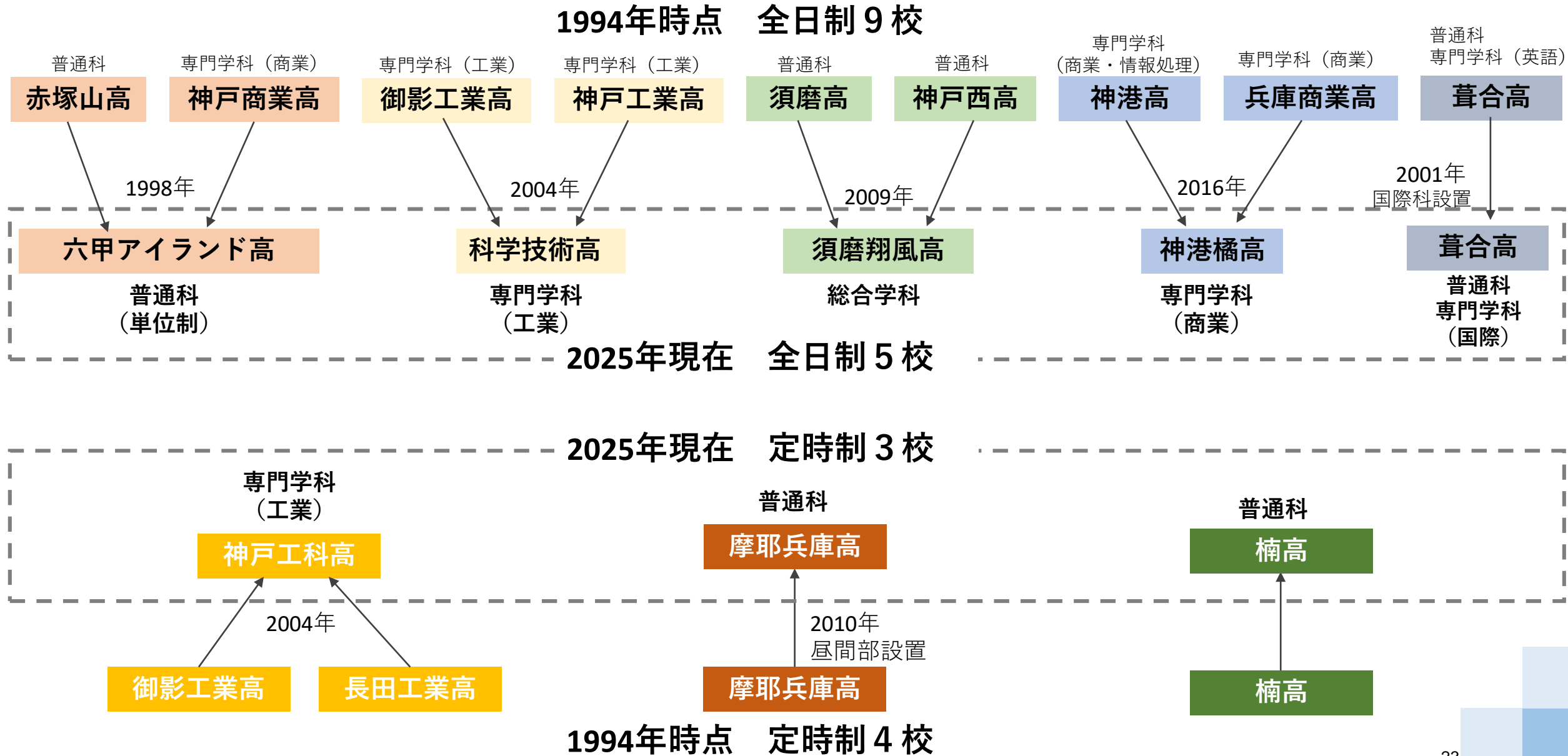
- ・ 探究学習の過程や成果を共有・発信する施設設備の充実

探究ルーム・フリースペース・プロジェクター・スクリーンを常設
他校、海外、企業とつながる最新のオンライン設備を整備
工業教育に最先端かつ高度な機器を導入
小中高大・企業と対面で学べる共有施設(ラボ)を整備

- ・ 生徒(保護者)が安心かつ快適に学ぶことができる環境整備

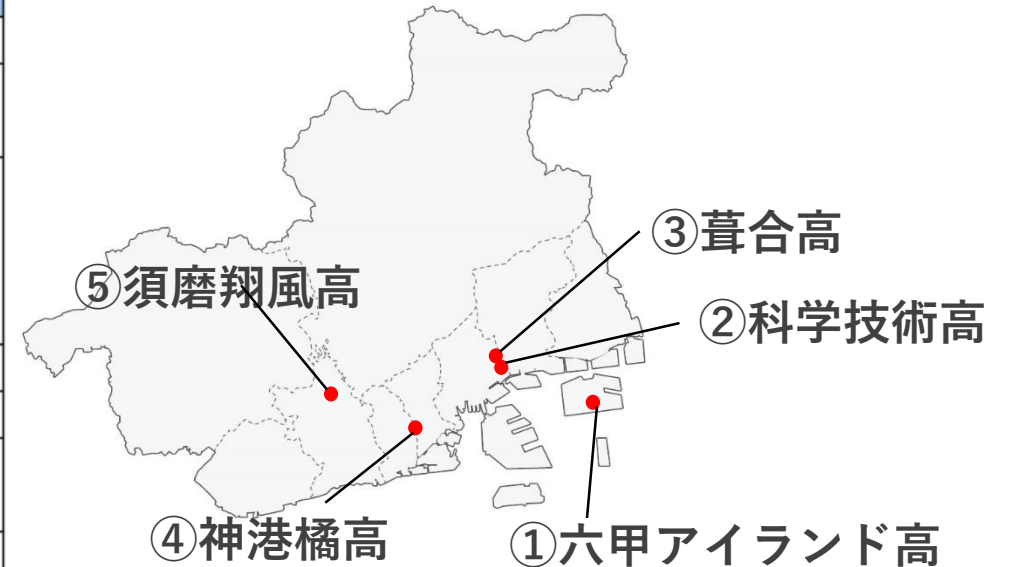
校内Wi-Fi整備・全館空調・トイレ整備・グラウンド人工芝
神戸らしさが伝わるデザインを施した施設備品の設置

【参考】これまでの再編



【参考】現在の市立高校の概要

	名称	設立	建築年	学科	定員(学級)	備考	研究指定
全日制	六甲アイランド	1998年	1998年	普通科	360(9)	単位制	SSH(2011年～)
	葺合	1949年	2017年	普通科	280(7)		SGH(2014年～2018年)
				国際科	80(2)	100%推薦	WWL(2019年～2021年)
	科学技術	2004年	2004年	工業科	360(8)	機械工学120 電気情報工学80 都市工学80 科学工学80	地域産業の担い手(2007年～2010年)
	神港橋	2016年	2016年	商業科	320(8)	みらい商学科	地域協働(2020年～)
須磨翔風	2009年	2009年	総合学科	280(7)	単位制		
定時制	神戸工科	2004年	2004年	工業科	夜間120(3)	科学技術と併置	地域産業の担い手(2007年～2010年)
	摩耶兵庫	1970年	1991年	普通科	昼間80(2)	定時制単独	
					夜間80(2)		
楠	1948年	1948年	普通科	夜間80(2)	湊川中と併置		



【参考】兵庫県の高等学校教育改革について

○県立高等学校教育改革第三次実施計画

- 1 計画の趣旨：第3期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」を踏まえ、変化が激しく予測困難な時代を迎える中で、社会の変化に柔軟に対応し、自らの力で新しい社会を切り拓く力を育成できる県立高等学校であり続けられるよう、改革の基本的な考え方と方向性を示す。
- 2 計画の期間：令和4～12年度の9年間。このうち、令和4～8年度の5年間を前期期間として取組内容を示す。

計画期間 〔令和4～12年度（9年間）〕	
前期期間 〔令和4～8年度（5年間）〕	後期期間 〔令和9～12年度（4年間）〕

- 3つの柱
- ・県立高等学校の魅力・特色づくりの推進
 - ・県立高等学校（全日制）の望ましい規模と配置
 - ・入学者選抜制度・方法の工夫と改善

○発展的統合の具体的な進め方

第1学区の状況(2025年度)	第1学区		第2学区		第3学区		第4学区		第5学区
	神戸・芦屋	淡路	阪神	丹有	北播磨	東播磨	中播磨	西播磨	但馬
伊川谷+伊川谷北 → 神戸学園都市	2組4校	なし	1組2校	なし	1組3校	なし	3組7校	なし	なし
神戸北+神戸甲北 → 北神戸総合	なし	なし	1組2校	2組4校	なし	1組2校	1組2校	1組2校	なし
校数	21→19	5	24→22	10→8	12→10	17→16	14→9	11→10	11

授業料無償化等の国の動向を踏まえ、県立高等学校（全日制）発展的統合対象校の2025年度公表を2026年度以降（2028年度発展的統合の実施を2029年度以降）に延期する。

【参考】市立高校の特長

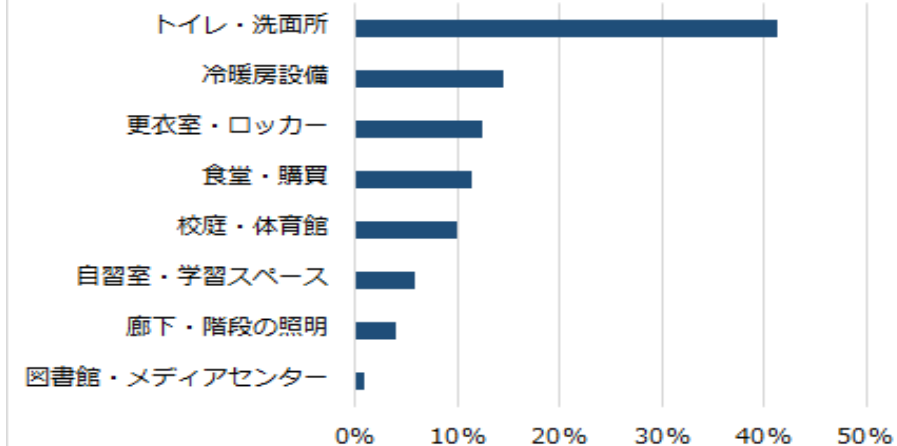
六甲アイランド高

- *普通科単位制、人文・科学・芸術・情報等から選択
- *SSH指定校として探究・理数研究を進める
- *「神戸学」「理数探究」など独自科目が豊富
- *自分で進路を設計できる自由度の高さ
- *探究・研究・表現活動等に長期的に取り組むことができる
- *大学進学率が上昇、国公立大学進学者も増加
- *行事・部活も活発

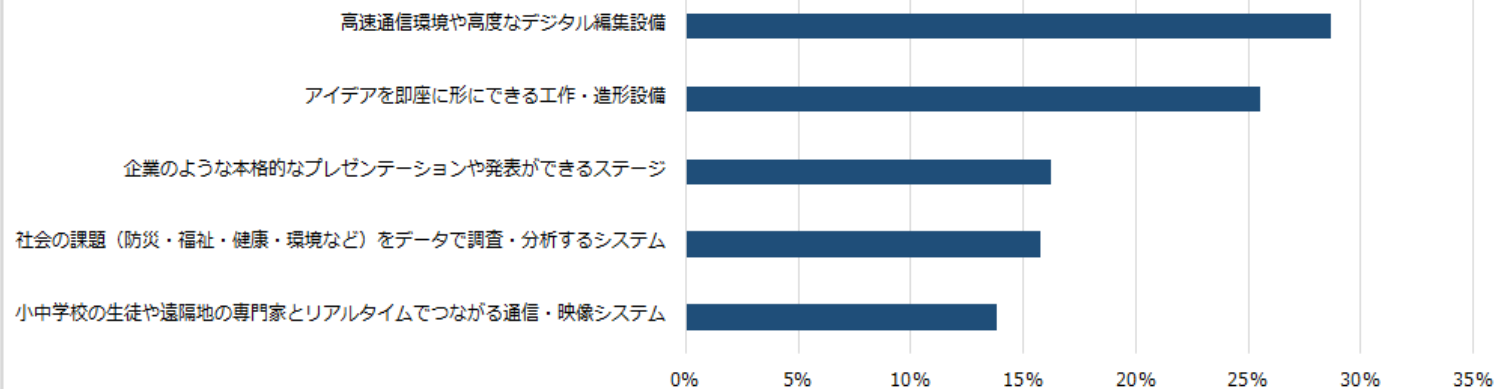
志望理由



施設要望



授業や探究活動において「これがあればもっと深く学べる」と思うツールや環境

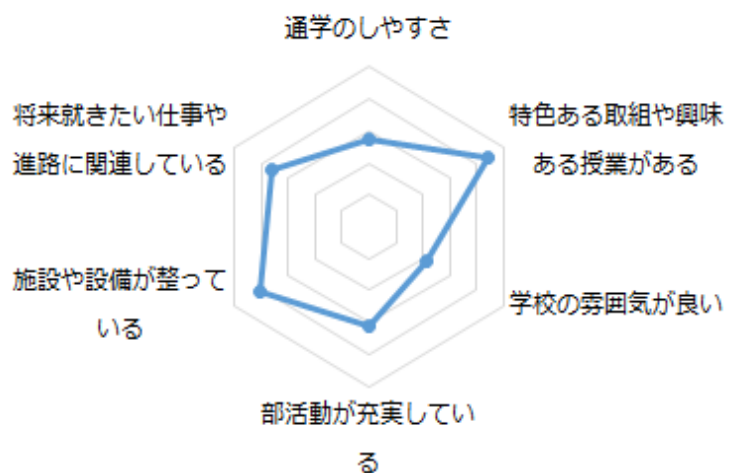


【参考】市立高校の特長

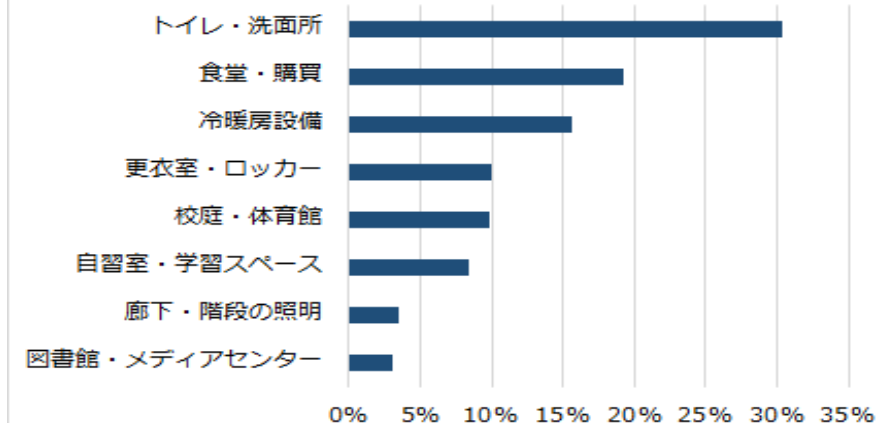
科学技術高

- *機械・電気情報・都市工学・科学工学の4学科
- *実習・資格・課題研究・インターン重視
- *大学進学と就職内定率の合計が、ほぼ100%の両立
- *全国レベルの研究・競技実績多数
- *ロボット・電子回路・建築など専門性が非常に高い
- *地元の優良企業から大手企業まで求人数
- *サッカー部やバスケットボール部など部活も活発

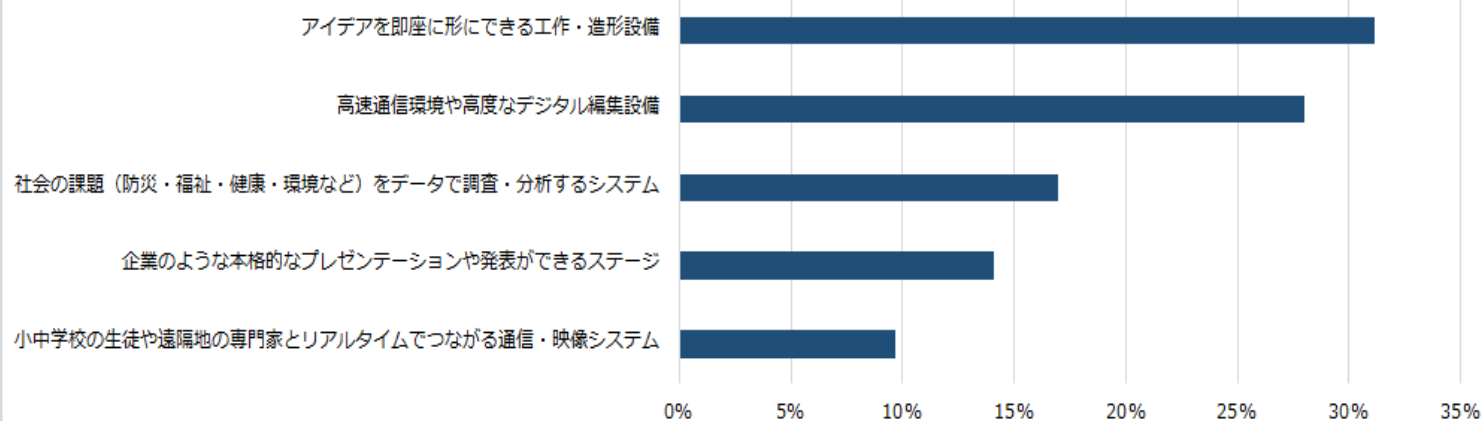
志望理由



施設要望



授業や探究活動において「これがあればもっと深く学べる」と思うツールや環境

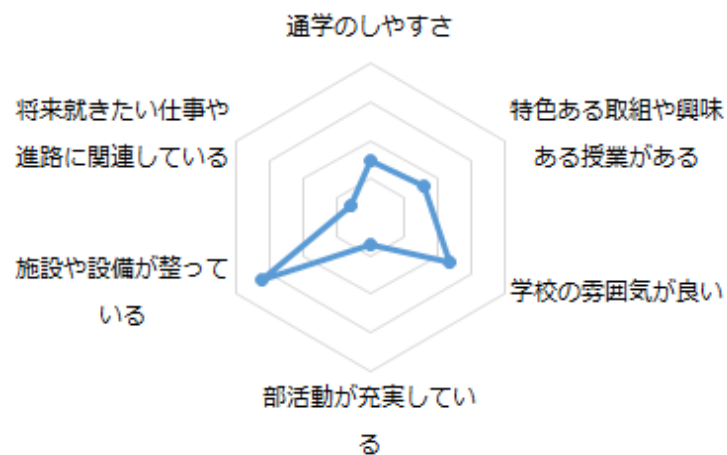


【参考】市立高校の特長

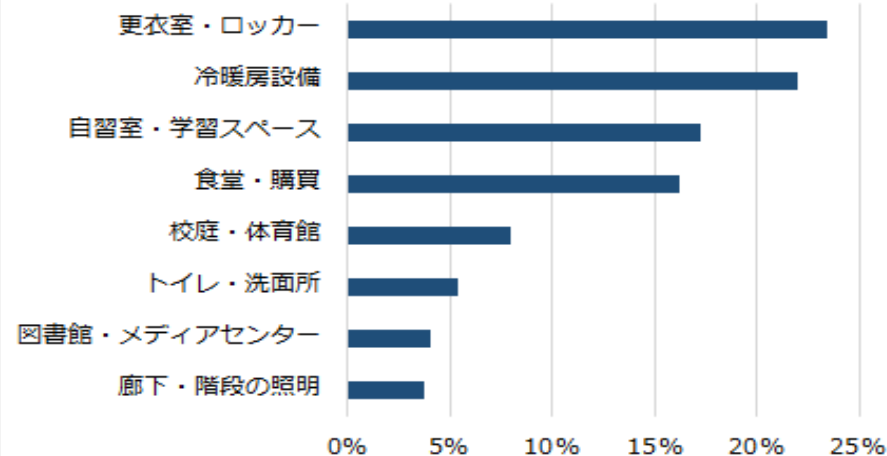
葺合高

- *進学・国際教育拠点校
- *国際科は英語4技能・探究・国際課題学習を重視
- *普通科は文系・理系・英語系に分かれ、大学進学対応
- *多数のALT配置、海外姉妹校との交流が継続的に行われている
- *探究やスピーチコンテスト等で優秀な成果を取めている
- *海外研修・国際会議型授業など特長ある取り組みを推進
- *行事・部活も活発

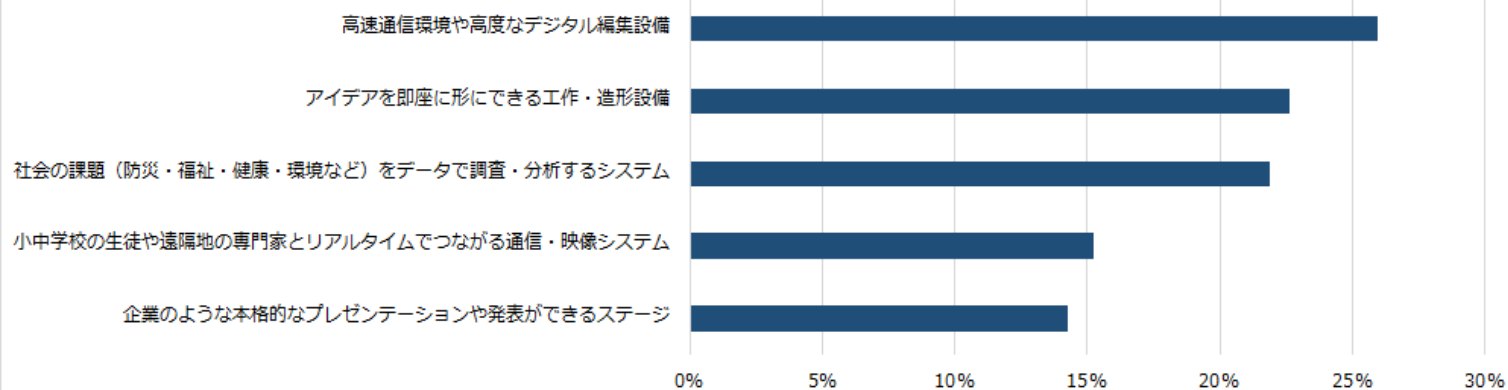
志望理由



施設要望



授業や探究活動において「これがあればもっと深く学べる」と思うツールや環境

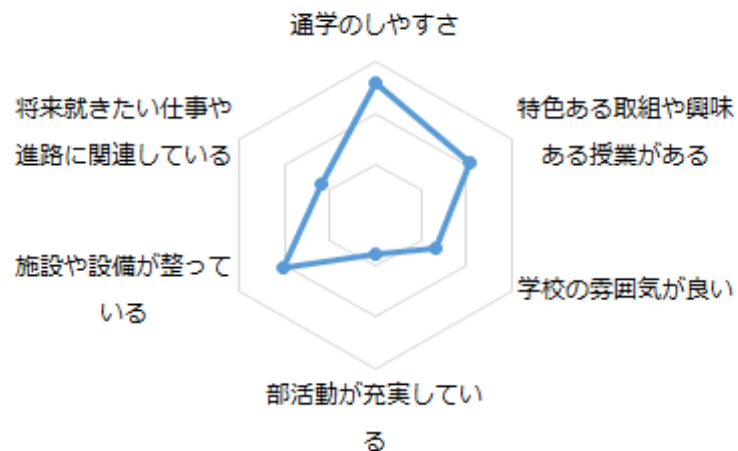


【参考】市立高校の特長

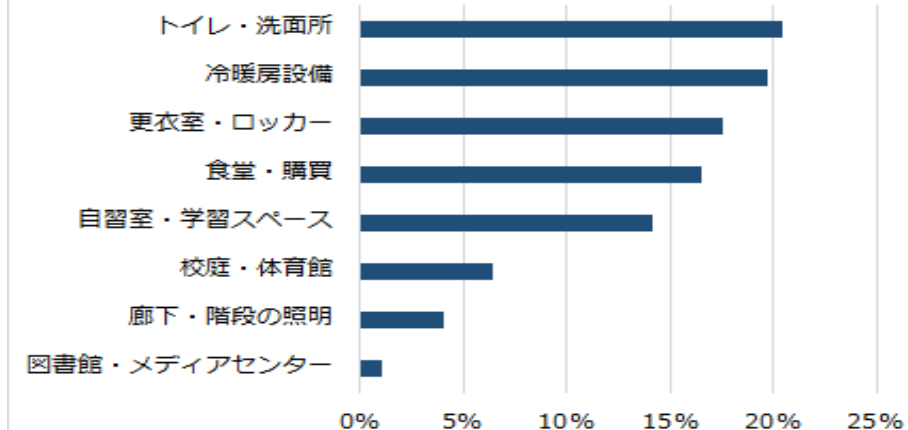
神港橘高

- *商業科+ICT+探究型学習
- *簿記・情報・会計・マーケティングを体系的に学習
- *インターンシップ・実社会連携が必修
- *簿記や情報など、進路に直結する資格を計画的に取れる
- *就職にも進学にも対応できる進路の幅がある
- *旅行企画等実践的学習を通じてビジネスを学ぶ
- *補習や進路指導など、生徒に寄り添った指導を实践

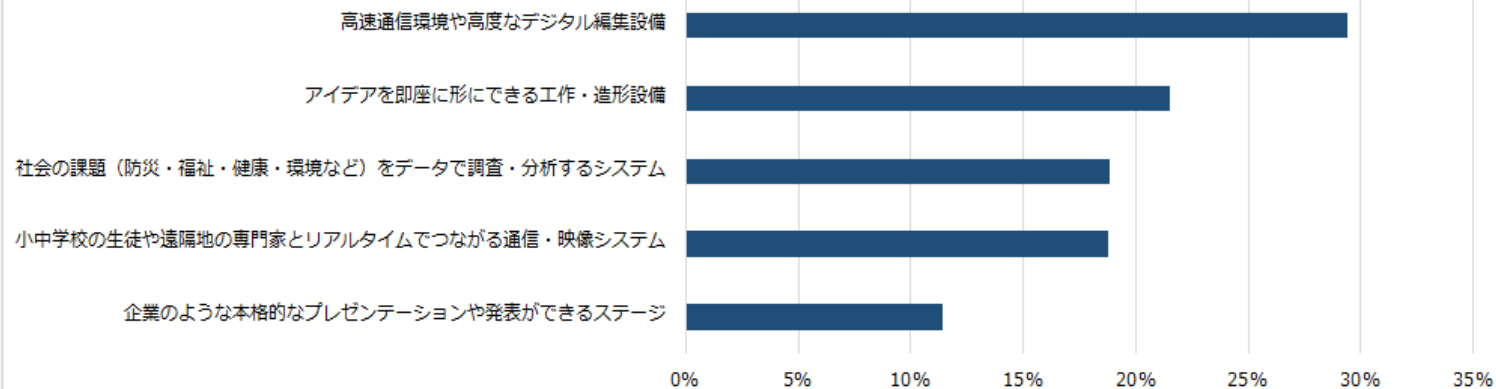
志望理由



施設要望



授業や探究活動において「これがあればもっと深く学べる」と思うツールや環境

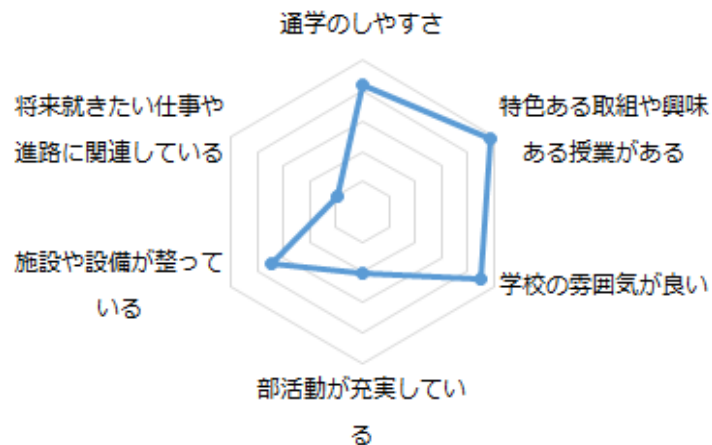


【参考】市立高校の特長

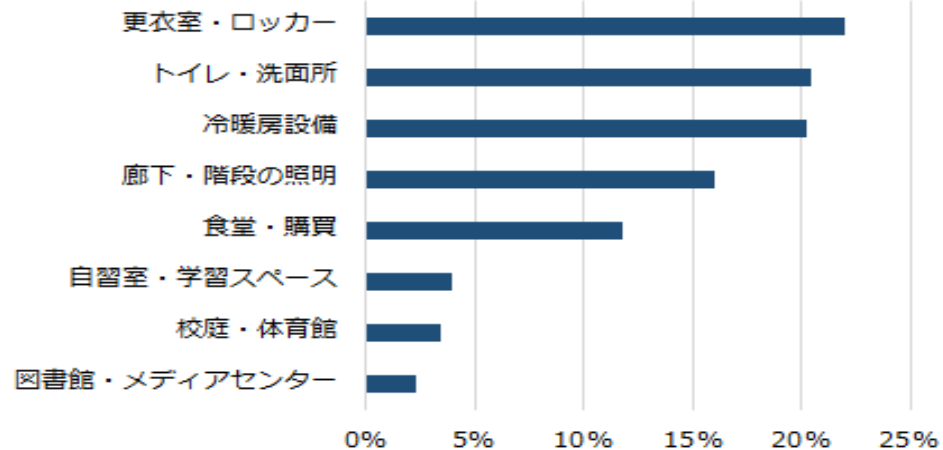
須磨翔風高

- *総合学科で2・3年次に完全な時間割選択制
- *キャリア教育・探究学習を軸に進学・就職を支援
- *将来の自分を3年間で見つけられる学校
- *文系・理系・実学・表現系まで幅広い選択科目
- *少人数授業や、基礎を大事にする授業設計
- *情報・福祉・教育・表現・実用科目など選択肢が幅広い
- *野球部や和太鼓部など部活も活発

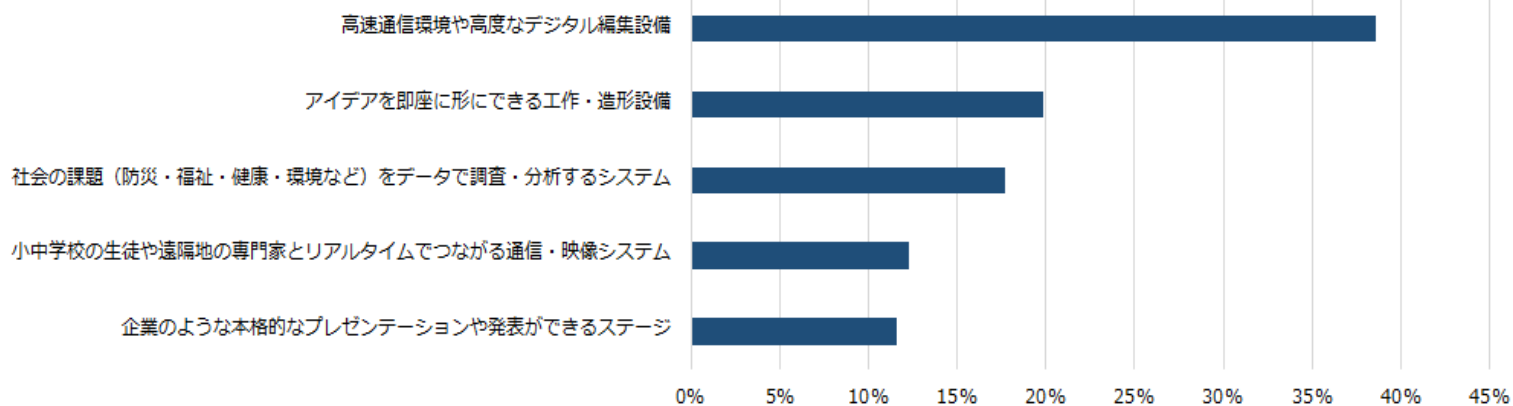
志望理由



施設要望

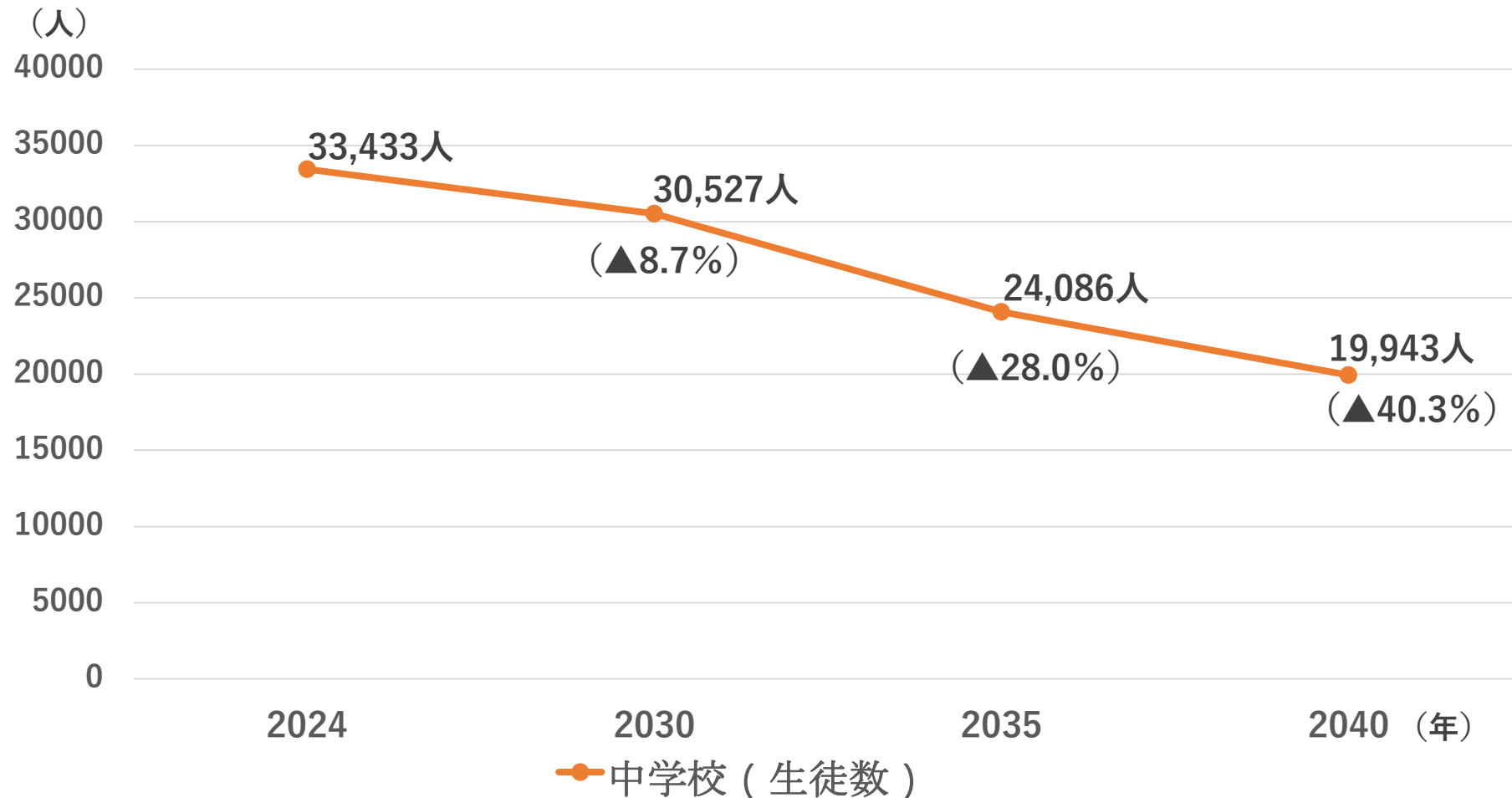


授業や探究活動において「これがあればもっと深く学べる」と思うツールや環境



【参考】生徒数の減少

2040年には、中学校の生徒数が約4割減



※1 カッコ内は2024年との比較

※2 2035年度以降の推計値は、神戸市推計による